

自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2004.7.15 No.4

北海道ボランティア・レンジャー協議会

シダ植物について

7月に入って林床の植物がグングン伸びています。それらの中に混じってシダ植物も大きく葉を広げています。日本は世界の中でもシダの非常に多い国だといわれています。本州ではどの県でもアメリカ合衆国全土に匹敵する種類があり、北海道だけでもイギリス全土とほぼ同じ数の種類が自生していると言われています。

日本の国はシダの成育に適した気候や地形地質条件を兼ね備えているのでしょうか。このように種類の多いのに加え、特徴を掴むのが難しいこともあります。観察会ではシダ類を敬遠しがちですが、種類を同定することも重要ですが、形態や観察のポイントをおさえることも大切です。

普通に見られるシダの体の多くは、地上に葉だけがあって、茎は地下にあり、そこから根がでています。ですから、シダは根・茎・葉の区別ができます。そしてこの季節、種を増やすための準備をしています。もちろん、ご存じの通り花を咲かせませんし種子ではなく、胞子によって種族を増やしていきます。

胞子のつけ方には2つのタイプがあります。一つは葉の中心部から伸びる「胞子葉」によるものと葉の裏に胞子のう（ソーラス）をつけるものがあります。

緑色をした普通の葉のことを「栄養葉」といい、ワラビなどは胞子葉と栄養葉の別がないシダであり、クサソテツやゼンマイは胞子葉と栄養葉が別々になっているシダです。

種名がわからなくても、葉の仕組みや胞子葉や栄養葉の裏を確かめてみましょう。胞子のうをつけたり胞子葉が立ち上がっているのを見ることができます。

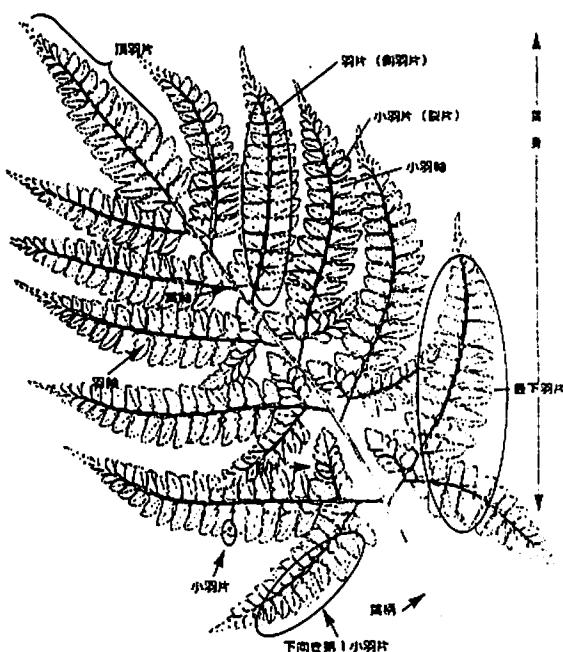
(図参照 葉によるシダの検索図鑑 誠文堂新光社)

ボランティア・レンジャー育成研修会

野幌森林公園での観察会に協力しているボランティア・レンジャー協議会は道の自然環境課の主催する育成研修会を修了した人達によって構成されています。

今年度の育成研修会は、8月20日～22日 留萌市の留萌支庁で開催されます。育成研修に参加され、ボランティア活動をしてみませんか。申込み・問合わせは下記の通りです。

道 環境室自然環境課自然ふれあい係 (TEL 011-231-4111 構 24-372)



オオウバユリの花

オオウバユリの花が咲き始めました。かって、アイヌの人達は花をつけない株をマッネトゥレブ（雌のウバユリ）、花をつけた株をオッカイトゥレブ（雄のウバユリ）と区別しました。雄雌異株の植物ではありませんが、花を咲かしたのを雄とみなし、まだ花をつけない株を雌と考えました。

オオウバユリは10年ちかくかけ鱗茎にデンプンを蓄えますので、アイヌの人達はこの鱗茎のデンプンを食料としました。開拓記念館内の展示場の一画にこれらの資料が展示されていますので機会があったら見学してみてはどうでしょう。

ウバユリの言われはご存じ、花の咲く時期になると下葉（歯）がとれかかり、枯れてくることから姥（うば）に見立て名付けられましたが、昨今このようなことを言うと、差別用語とお叱りを受けてしまう時世です。

ウバユリの分布は北海道、本州の北部、サハリン、南千島におよびますが、本州のものより大きいところから「オオウバユリ」または「エゾウバユリ」と呼ばれています。10年近い年月をかけて鱗茎にデンプンを蓄え1回の開花にその栄養分を使い果たし枯死するこの植物を敬意をもって観察してもらいたいのですが、よく道沿のオオウバユリがせっかくさいでいるのに折ったり踏み付けられているのを見ると、大変残念なおもいがします。



クリの花

クリの花が満開です。クリの語源は、黒い実、くろ実、これがクリになったという説と実の形がクリカタ（刀の鞘表の鯉口近くにつけるもの）に似ているという説があります。

花の香りは独特で強烈な匂いを放っていて虫媒花です。雄花序は淡黄白色で、雌花序は淡緑色で花序の基部についています。このような花序を「尾状花序」といいます。このような花序はブナ科、カバノキ科、クルミ科に見られ柄のない小さな単性花が多数ついて、紐状に垂れ下がります。これは穂状花序の変形したスタイルといわれ、花が終わると、花はひとつひとつ落ちないでワンセットでいっぺんに落ちる特徴があります。

自生木の北限は石狩湾と苫小牧を結ぶ石狩低地帯と言われています。北限地の一つ「栗沢」はアイヌ語のヤムオナイ（クリ・たくさんある・沢）を訳したものです。十勝地方にクリのないアイヌの話で「夫婦の神がけんかの末、一方が怒って食べ物を投げた。それがクリの木に姿を変えたが、十勝には落ちなかつたのでクリを見るこことはない」があります。

8月の観察会は？

夏の森の林床には草丈の伸びた野草が目に入ります。よく観察すると秋の花の準備や来年に向けての営みが見られます。夏の暑さを謳歌するようにエゾゼミやコエゾゼミが鳴いています。暑い夏の時期ですが森の姿を尋ね歩きましょう。

・夏の森の観察会

8月15日（日） 10:00~14:30 大沢口 ふれあい交流館前（昼食持参）